

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

— 第33号 —

＝ 目 次 ＝

- 春の山菜を楽しむ会&自然観察 2
- 森林整備体験交流会&御墓山探訪 3
- 日野川ラフティング体験&水辺の生き物観察会 4
- 日野川の自然環境と希少生物を守る体験学習会 5
- 日野川写真塾2018 6
- 平成30年森と水に親しむ活動を支援 7
- 水道☆環境フェスタ in Yonagoにブース出展 8
- 流域の自然を守る外来植物除去&植物学習会
- 幹事の部屋 9
- 日野川フォトコンテスト作品展
- 今後の活動予定、会員募集 10

表紙写真:権現滝 雄滝(日南町)
撮影:当会幹事 棚木建明氏

活動
レポート

春の山菜を楽しむ会 & 自然観察

H30.5.13 場所: 江府町御机、江尾



日野川の自然の恵みを味わう

本会初の試みとして、春の野山を散策して野草などについて学び、地域の方々と一緒に山菜などをふんだんに使った郷土料理を食して交流する、自然体験と食を組み合わせたイベント「春の山菜を楽しむ会&自然観察」を開催しました。



▲植物解説を熱心に聞く参加者の皆さん



▲足元に注意しながら慎重に進みます

当日は、木谷沢で鳥取県自然保護監視員の藤原文子さんが自然解説を行いました。あいにくの雨のため早めにJR江尾駅近くの江府町総合健康福祉センターに移動しました。

屋内で自然観察の補足説明を受けた後、いよいよお待ちかねの春の山菜料理がテーブルに並びました。江府町食生活改善推進員協議会の方々による心のこもった料理の数々に、参加者の皆さんは調理方法を尋ねるなど一つ一つの料理をじっくり味わっていました。



▲自然観察の補足説明です



▲江府町食生活改善推進員の皆さんの心づくしを味わいました

- 自然観察は雨なりに楽しむことができました。
- 観察会はとてもいねいに説明していただき良かったです。
- 木谷沢溪谷が新緑と雨で大変美しく感激しました。ゆっくり歩いて植物の名前もわかって良かったです。
- 山菜料理はとてもおいしくて良かったです。個人ではなかなか食べられないものもあり良い体験でした。

参加者の
声

活動
レポート

森林整備体験交流会 & 御墓山探訪

H30.6.16 場所:日南町宝谷、阿毘縁



間伐作業を通じて森林の大切さを知ろう!

今年も、初夏のイベントとして恒例となった日南町宝谷のスギ・ヒノキ林（日南町有林）での間伐作業の体験です。最初に森林が果たす重要な役割について説明を受けた後、ふもとから程近い林内で、当会幹事であり、熟練した伐採技術を持つ榎木建明さんによる立木の伐採実演を見学しました。

参加者の皆さんは、伐採されたヒノキを運びやすくするためにノコギリで枝落としを行い、代表してお一人がチェーンソーを使用した玉切り(丸太を短くする作業)を体験しました。



▲ふもとでの森林が果たす役割の説明



▲榎木さんのサポートを受けながら玉切りを行う参加者代表の方

日南町阿毘縁の「ゆきんこ村四季彩」で思い思いの昼食をとってから、奥日野五山の一つであり古事記にも登場する伝説の山「御墓山」に向かいました。山頂までは片道約1km、高低差160m程度と比較的なだらかな道ですが、途中には丸太橋を渡ったり急な坂もあったため注意深く進みました。参加者の皆さんは鳥や植物を見たり、その都度説明を受けるなどして初夏の自然を堪能しました。



▲二つのグループに分かれての登山



▲野鳥の説明を熱心に聞く参加者の皆さん

- 自然に対応していくのにも「人間の力」が必要なくなりました。
- 森林整備の大変さがわかりました。
- 登山のペースがゆっくりで鳥の声も聴けて最高でした。
- 初めて御墓山に行きました。天気もよく気持ちよく歩けました。

参加者の
声

活動
レポート

日野川ラフティング体験& 水辺の生き物観察会

H30.8.18 場所:日野町中菅ほか



日野川の新たな魅力と豊かな自然を体感しました!

午前中は、当会の幹事で江府町の自然を守る会会長の神庭賢一さんを講師に、黒坂カワコふれあい公園で日野川の小魚や水生昆虫の観察会を行いました。

公園の東屋で水の生き物について予習をしてから、探索を開始しました。晴天の空の下、心地よい水の冷たさを感じながら、夢中になって川の中を見て回りました。網を使って小魚や水生昆虫を捕まえてバケツに入れて先生からの解説を熱心に聞いていたのですが、その賑やかさに驚いたのか、岸辺の草むらの中からオオサンショウウオも姿を現したりして、参加した皆さんは大盛り上がりでした。



▲わかりやすい事前説明でした



▲生き物はどこに隠れているのかな?

午後からは日野川ラフティングです。準備体操や事前説明を念入りに受けた後、ボートに乗って出発です。今回は2km程度のショートコースになりましたが、それでも岩場や急流がありスリル満点です。途中でボートを降りてライフジャケットで浮かんで流されたり、大きな岩の上から川にダイブしたり、ボートの舳先に代わるがわる立ってみたりとボート漕ぎの他にもお楽しみが盛りだくさんで、ボートから降りる頃、参加した皆さんは疲れも忘れて満足げな表情を浮かべていました。



▲最初は緊張して硬い表情でした



▲いち、にの、さん!!

- 1日楽しく過ごせました。
- ラフティングはこわかったけど川流れが面白かった。水辺の生き物がたくさんとれてよかった。
- ラフティングは岩に当たったりしておもしろかったです。生き物観察もオオサンショウウオが見つられて楽しかったです。

参加者の
声

活動
レポート

日野川の自然環境と 希少生物を守る体験学習会

H30.8.20、27 場所：日野町日野川支流



▲マイクロチップ埋め込みの様子

8月20日に根雨小、黒坂小
8月27日に日野高生がオオサンショウウオの生態調査をしました。



▲川の生き物を探す根雨小の児童



▲川の生き物を探す黒坂小の児童



▲調べた結果を発表する日野高生

日野町にある日野川の支流で、オオサンショウウオの生態調査を行いました。

今年で5年目となるこの取り組みは、日本ハンザキ研究所理事長の岡田純さんの指導の下で、根雨小児童18人、黒坂小児童14人、日野高校アグリライフ系列の1年生14人が調査に参加しました。

2日間で4個体捕獲されましたが、4個体全部が新規捕獲（マイクロチップを埋め込まれていない）個体でした。児童、生徒たちは岡田さんの説明を受けながら、オオサンショウウオの大きさの計測やチップの埋め込みを手伝い、体に触ったりして観察しました。

（※オオサンショウウオは特別天然記念物なので、許可なく捕獲、移動、触ることはできません。）

また、オオサンショウウオのいる川にはどんな生き物が生息するのかを調査しました。岸辺の草の根元に隠れている生き物を、足で探ってタモ網に追い込んだり、川底の石をひっくり返したりして色々な生き物を見つけました。サワガニやカワゲラ、カゲロウの幼虫などのきれいな川にすむ生き物がたくさん見つかりました。コオニヤンマなどのヤゴも多く見つかり、歓声をあげていました。ドジョウを見つけた児童もいました。

日南町で調査しているオオサンショウウオは体長が40cmになるまでに40年かかるという説明も受けました。

日野高生は見つけた水生生物について、見つけた種類や数を基に、水質判定を行い班ごとに発表し合い、いかにきれいな水が流れているのかをあらためて実感したようです。

- オオサンショウウオに初めて触ったけど、想像したほどヌルヌルしていなかった。
- オオサンショウウオを初めて見ました。目が小さくてかわいいです。
- エラがなくなるのに4～5年かかる、大人になるのに時間がかかることがわかった。

参加者の
声

活動
レポート

日野川写真塾 2018



H30.8.25 場所:日野川流域各所(米子市～日野町)



写真撮影を通じて日野川流域の魅力を発見!

今年の写真塾は日野川河口からスタートです。参加者は講師の石丸なつ子さんに助言を求めたりしながら、それぞれがカメラを構えてこれぞという風景を切り取る作業に没頭します。ひとしきり写真を撮ったら、次の撮影場所である植田正治写真美術館に移動しました。

植田正治写真美術館周辺は建物やその周辺の風景自体が写真に映えるポイントですが、ほかにも大山ガーデンプレイスや国の登録有形文化財である旧江尾発電所本館で様々なシチュエーションの撮影を体験しました。



▲カメラにどんな風景を捉えているのでしょうか?



▲旧江尾発電所本館では建物の撮り方のコツを意識しました

写真塾の最後の撮影ポイントは出雲街道の要衝であった根雨の街歩きです。根雨神社傍から出発し、途中、たたら楽校根雨楽舎でたたら楽の勉強もして、日野振興センターまで写真を撮りながら歩きました。

今回は、日程の締めとして会議室での「写真塾」を初めて開催しました。当日撮影した写真をモニターに表示して石丸さんのわかりやすい講評を聞いたり、参加者同士で意見交換したりしました。写真撮影と日野川周辺の素晴らしい環境への関心が深まった楽しい一日でした。



▲祇園橋と根雨神社は絵になるなあ



▲石丸さんの講評を笑顔で聞く参加者の皆さん

- 写真の写し方、被写体の捉え方など色々な考え方や方法がわかりとても参考になりました。
- 今回は写真をシェアする時間があってとても良かったです。
- 最後先生からコメントをいただいたり皆さんの写真を見て感動したり有意義な時間を過ごせました。

参加者の
声

平成30年 森と水に親しむ活動を支援

日野川の源流と流域を守る会では、日野川流域の森、水辺の自然環境や歴史文化等について、将来を担う子どもたちや流域住民の方々に体験活動を通して理解を深めていただく活動を行う団体等を支援しました。

【NPO法人こうふのたより】～日野川沿いの桜並木の環境整備とライトアップ～

江府中学生議会による「桜とイチョウのライトアップ行っは…」という提言を元に、この春に設立されたNPO法人こうふのたより（代表 中川久美子）が地域住民の方々や江府町観光協会等と協力し、江府町佐川地区の日野川沿いの桜並木周辺の草刈り、清掃、ベンチ設置等の環境整備を行うとともに、4月6日から8日の夜に桜並木のライトアップが行われました。期間中は小雨の降るあいにくの天候でしたが、米子市内からフラダンスグループに来場いただき会場はおおいに盛り上がりました。

また、警備や見回りの安全対策を講じられていたことから子どもたちも多数参加し、地域の豊かな自然を実感しました。

【米子市水道局】～水道☆環境フェスタ in Yonago～

日野川の伏流水を利用して水道事業を運営している米子市水道局（米子市水道事業管理者水道局長 細川庸一郎）が日野川流域憲章制定 10 周年を記念し、6月10日（日）に環境保全と水道事業の重要性のPRを目的に、「鮎のつかみどり」、「なっとく！水の実験教室」等の子どもたちに親しみやすいイベントを実施されました。



初めて開催されたイベントですが、大人141人、子ども240人の計381人も来場され、特に「鮎のつかみどり」にはおよそ300人が押し寄せ、子どもたちの歓声と熱気に包みこまれました。



活動
レポート

水道☆環境フェスタ in Yonago にブース出展

H30.6.10 場所:米子市水道局

日野川の源流と流域を守る会の活動をPR!

米子市水道局が初の取組みとして開催したイベント「水道☆環境フェスタin Yonago」。鮎のつかみどりや水の実験教室、ゆるキャラ参加で多くの親子連れで賑わいましたが、今回、会場の一角をお借りして日野川の源流と流域を守る会の活動PRを行いました。

またこのような機会がありましたら、事務局が出向いてPR活動をやっていきたいです。



▲当日用意した缶バッジやポケットティッシュは全て配布しました

活動
レポート

流域の自然を守る 外来植物除去&植物学習会

H30.6.9 場所:日吉津海岸



日野川河口近くの海岸を守る活動です!

海岸の植物学習と、海岸に繁茂して在来植物の生育に悪影響を及ぼす恐れのある外来植物「オニハマダイコン」の除去活動を行いました。昨年7月初め、オニハマダイコンが大きくなり過ぎて除去が困難な状態だったことから、今回は6月上旬に実施することにしたものです。

最初に海岸植物について鳥取県自然保護監視員の藤原文子さんの解説を受けた後、参加者全員で除去作業です。今回は株一つ一つが小さかったので効率的に作業が行えました。綺麗な日野川流域を守るため、このような活動は継続して実施していきたいと思います。



▲実際に植物を確認しながらの学習です



▲ゴミ袋一杯に外来植物を集めました

幹事の部屋

日野川の源流と流域を守る会の幹事を紹介します。

日野川や湿地の生物たち

源流の会の幹事になってから約10年が経ちました。当初は幹事とは名ばかりで、なかなか参加や事業協力ができなかったのが実状です。ここ数年は、日野川や湿地での水生生物観察会等を企画し協力させていただいています。昨年度は、滝山公園の「湿地ビオトープ」の水生生物やトンボ類の観察会を実施しました。時期的にメインのハッチョウトンボは見ることはできませんでしたが、キイトンボやアキアカネ等が姿を見せてくれました。また、クロゲンゴロウやヒメゲンゴロウ等の水生昆虫を採取し観察することができ、参加者の皆さんは大喜びでした。今年度もこの湿地を予定していたのですが、この夏の大干ばつによって湿地の大部分が干上がってしまい急遽会場を日野川に変更し観察会を実施しました。普段見ることのないカゲロウやトビケラの仲間の幼虫等を観察したり、思いがけない大型のオオサンショウウオとの出会いがあったりと参加者の皆さんは大感激の様子でした。その日野川もこの度の台風や豪雨によって様相が一変してしまいました。湿地のハッチョウトンボのヤゴ、日野川のゲンジボタルの幼虫の生息等が大変心配ではありますが、自然の持つ生命力を信じながら、今後も調査や観察を継続し見守っていきたいと思います。



幹事 神庭 賢一

日野川フォトコンテスト作品展

日野川の清流、流域の自然の美しさ、流域に息づく生活文化や伝統。私たちの誇りである日野川の素晴らしさを伝えるため、日野川の源流や流域の風景、人々の生活、歴史文化などをテーマにこれまで行った「日野川フォトコンテスト」の入賞作品の巡回展示を行いました。

◆ 展示スケジュール ◆

- 6月 米子市立図書館(米子市)
- 6月 金持テラスひの(日野町)
- 8月 日南町総合文化センター(日南町)

【日野川フォトコンテスト作品展 展示作品例】



米子市立図書館会場



「清流」 真砂 美鈴
平成29年度 グランプリ

日野川の源流と流域を守る会

案内 これからのイベント・行事

時期	イベント名	内容	開催場所
2/22(金)	日野川の源流と流域を守る会総会	総会を開催しますので、多数のご出席をお願いします。 ※平成31年の会費の現金納入受付も行います。	米子市文化ホール

(注) イベント開催日、内容は、変更される場合があります。



日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域のすばらしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。

日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。

私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。

そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとのすばらしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切に、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年 8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会